

事業所アンケート調査結果

1. 調査概要

目的	「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定にあたり、事業者の地球温暖化に対する考えや日常の温暖化防止のための行動を把握し、計画内容に反映することを目的として、アンケート調査を実施しました。		
調査対象	糸魚川市内の事業所300社を対象とし、無作為に抽出		
調査期間	平成25年1月29日～平成25年2月8日		
調査方法	自記入による郵送調査法		
回収結果	対象者数	回収数	回収率
	300	134	44.7%

2. アンケート結果

(1) 総括

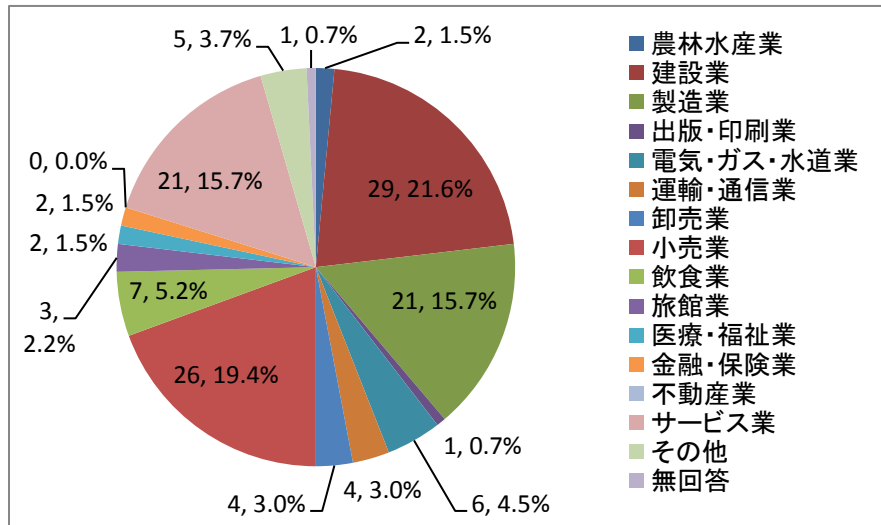
- ・グリーン購入については、比較的容易にできる対策でありながら、実施率が低い傾向がありました。普及にむけた情報提供等の対策が必要です。
- ・習慣づけで実施できる対策の取組みの実施率は比較的高く、機器の導入・更新を伴う対策の実施率は低い傾向がありました。
- ・習慣づけで実施できる対策については、比較的高い実施率が見られました。特に、こまめな消灯やごみ分別等については高い実施率が見られました。
- ・機器の運用改善に関する対策は、全般的に低い実施率となりました。コストをかけずにできる対策であるので、普及に向けた情報提供等の対策が必要です。
- ・機器の導入・更新を伴う対策は、全般的に低い実施率となりました。比較的低コストの対策についても普及率が低く、普及に向けた情報提供等の対策が必要です。
- ・一定のコストがかかる空調・給湯・断熱化等に関わる対策の実施率は今後の実施意向割合も含め、非常に低い結果となりました。E S C O事業などコストを抑える方法の普及に向けた情報提供等の対策が必要です。
- ・再生可能エネルギー設備の導入については、全般的に実施率・今後の実施意向割合ともに非常に低い結果となりました。普及啓発に向けた対策が必要です。
- ・習慣づけで実施できるエコドライブについては、実施率が高い傾向にあります。一方、共同輸送や公共交通機関の利用に関しては、5割が実施予定なしとしており、自動車利用の削減に向けた対策が必要です。
- ・エコカーへの買い替えについては、実施率が低い傾向にあります。温室効果ガスの削減効果が高いことから、自動車の更新を契機としたエコカー普及に向けた対策が必要です。
- ・簡易包装については、実施率が低い傾向がありました。ごみ減量に対する意識は高い傾向にあることから、容器包装類の減量に向けた対策が必要です。

- ・地域の森林資源の利用については、実施率・実施意向ともに低い傾向がありました。森林は、温室効果ガス吸収源となることから、利用促進に向けた対策が必要です。

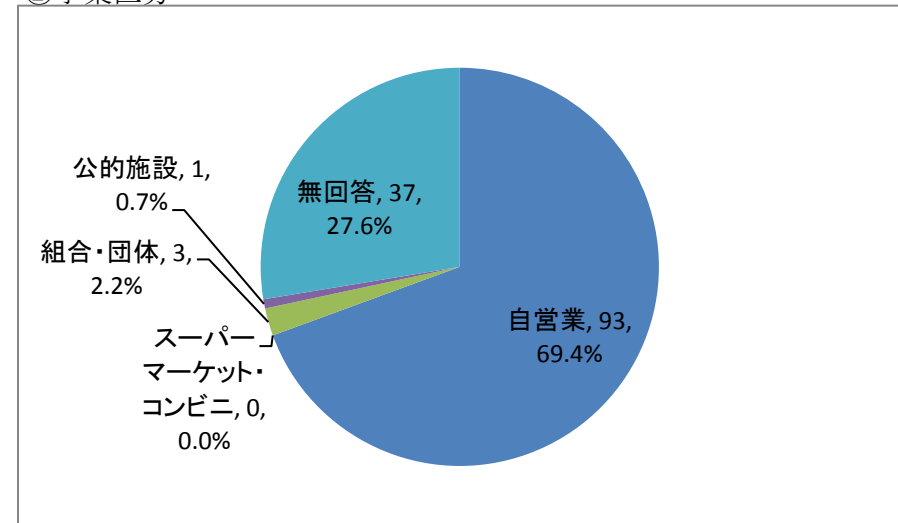
(2) 個別結果

問1 貴事業所についてお聞きします。

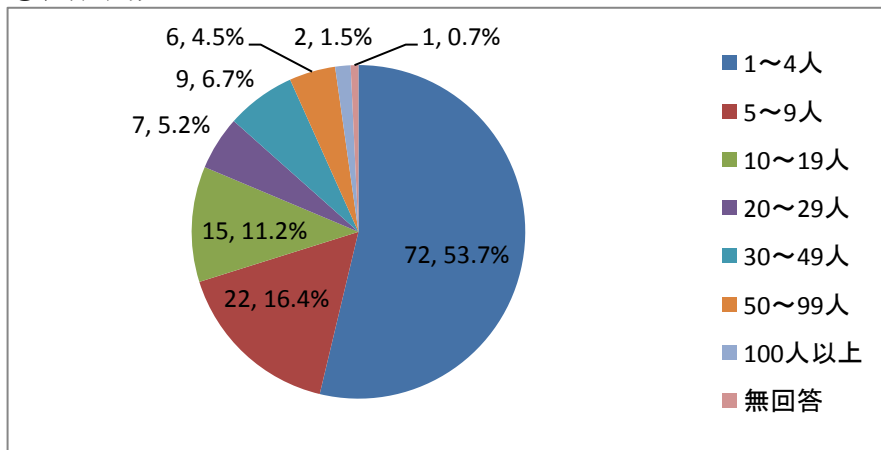
①事業種別



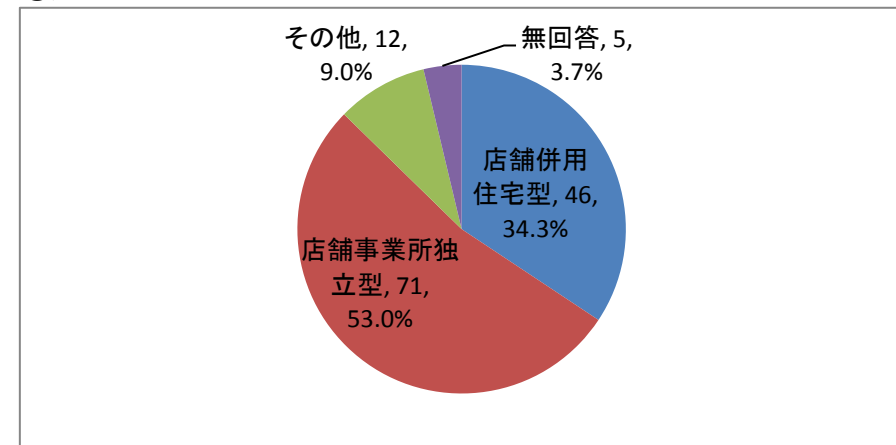
②事業区分



③従業者数



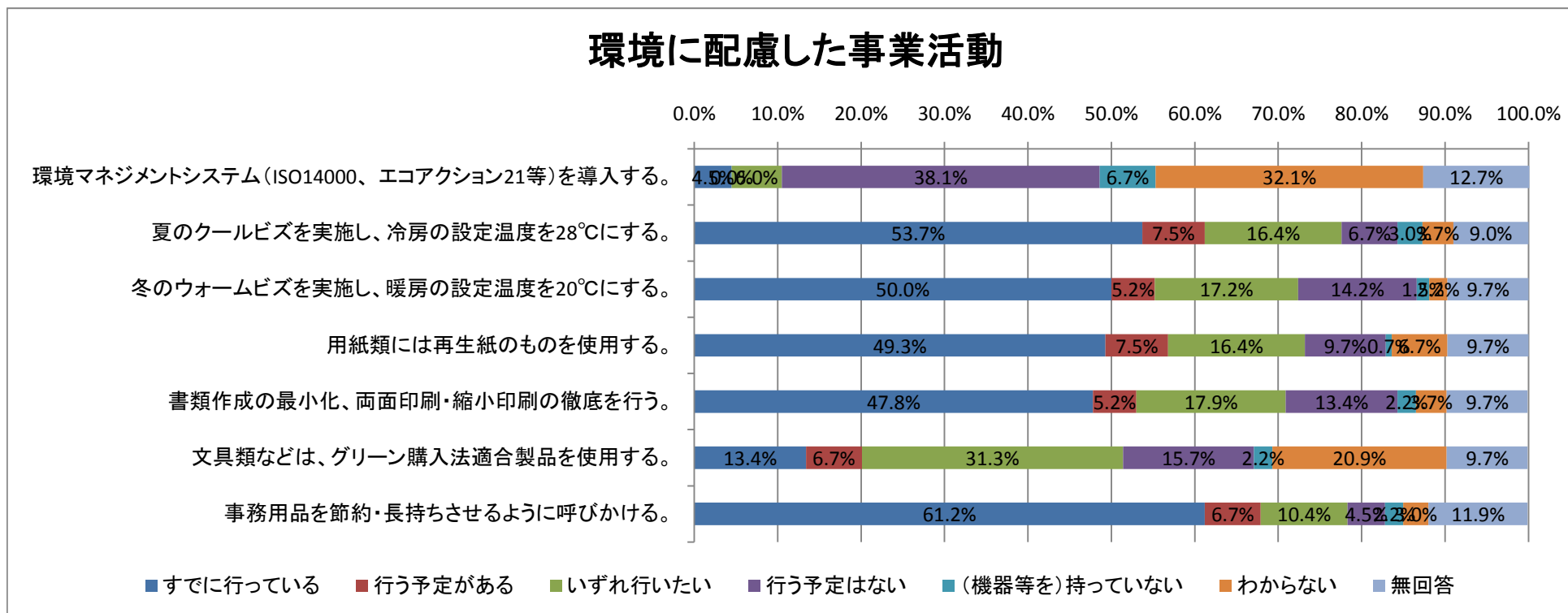
④形態



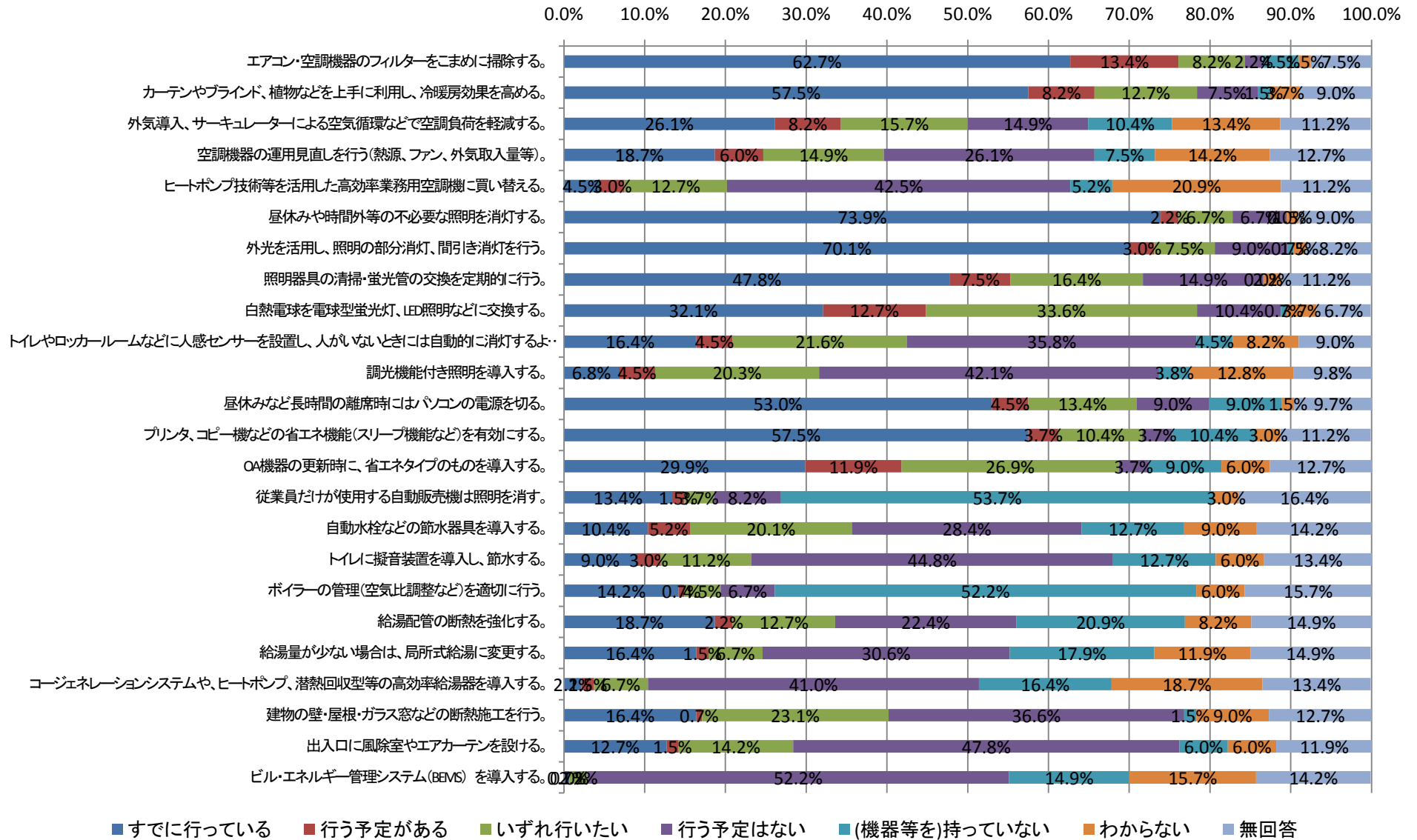
問2 貴事業所は、地球温暖化問題についてどのように考えていますか。

	件数	比率
1. 企業活動に多少不利益があっても積極的に取り組みたい。	13	9.7%
2. 企業活動に不利益にならない範囲で取り組みたい。	74	55.2%
3. 企業活動に何か利益があれば取り組みたい。	21	15.7%
4. 現状のままでいいので、新たに取り組もうとは思わない。	12	9.0%
5. 当社には関係ないので、取り組もうとは思わない。	5	3.7%
6. 関心がない。	5	3.7%
7. その他	0	0.0%
8. 無回答	4	3.0%
合計	134	

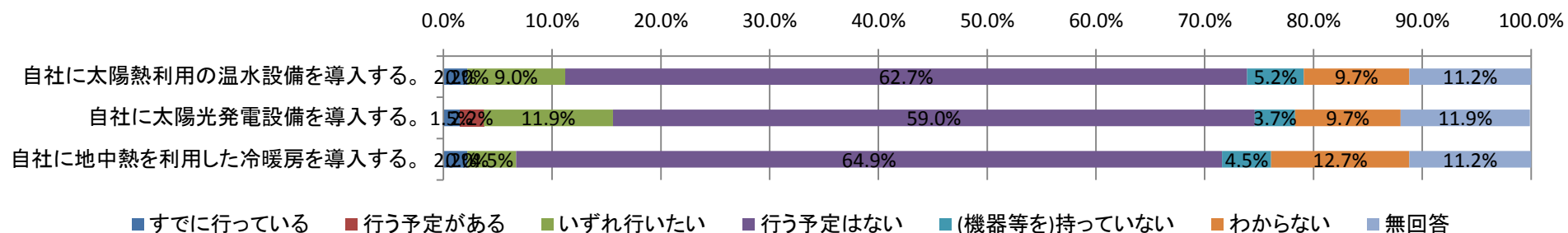
問3 地球温暖化防止のために取り組んでいることは何ですか。



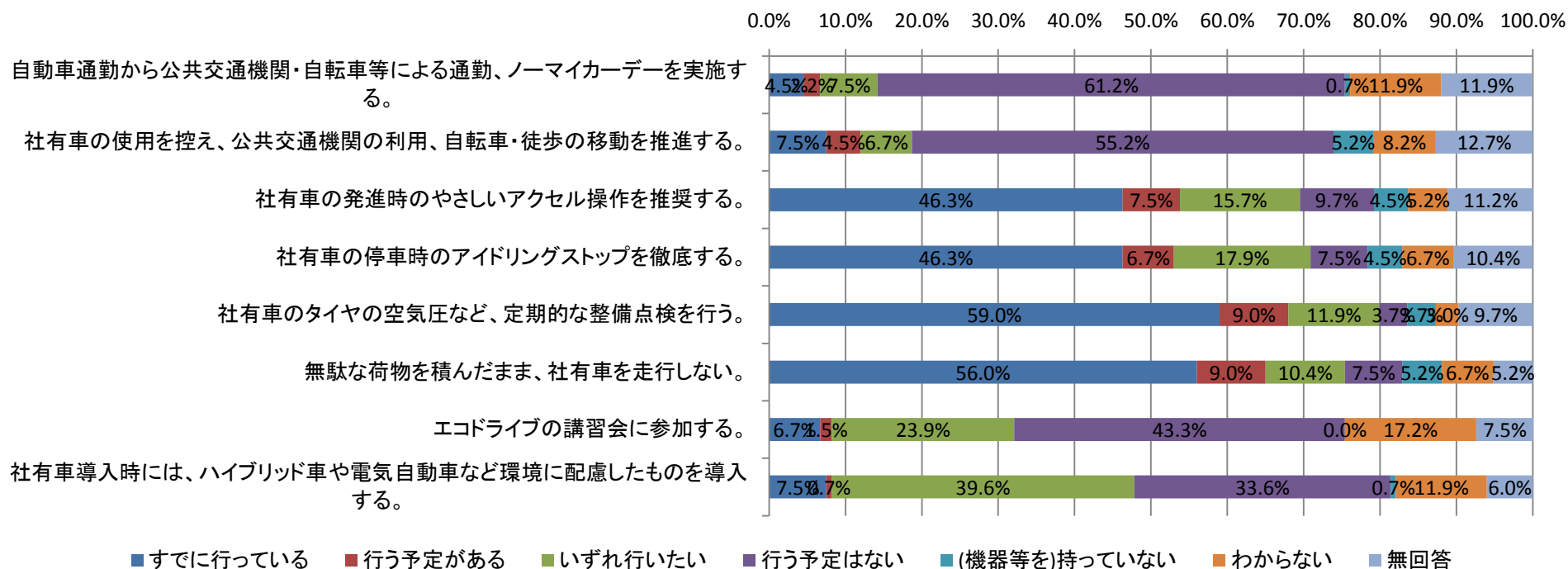
省エネを意識した事業活動



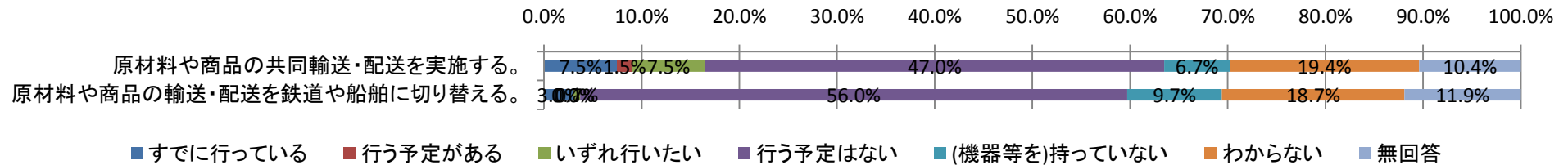
エネルギーの地産地消



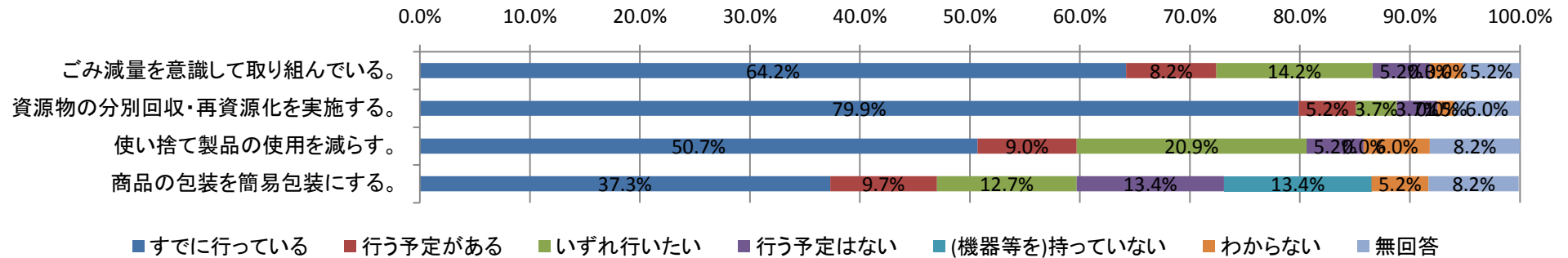
エコドライブ・エコカーの普及



環境配慮の輸送



ごみの減量・リサイクル



森林資源の利用促進

